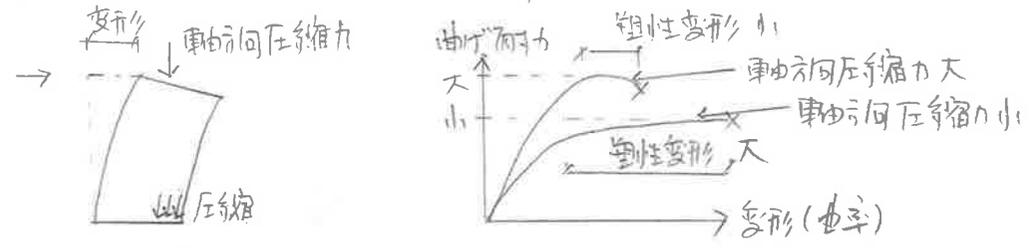


令和2年No.14 鉄筋コンクリート構造

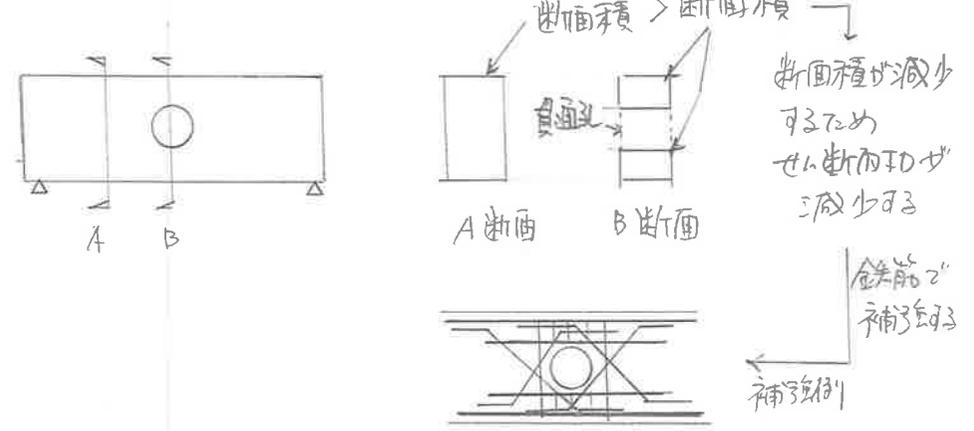
1. 柱に作用する軸方向圧縮力と塑性変形性能 → 軸方向圧縮力が大きいと塑性変形性能は低下する
2. 梁の貫通孔とせん断耐力 → 貫通孔を設けると、せん断耐力が小さくなる
3. 柱梁接合部に取付く梁の主筋量とせん断耐力 → 梁の主筋量を増やると、柱梁接合部に作用するせん断力は増加し、せん断耐力は変化する。
4. 耐力壁の周辺柱と塑性変形性能 → 耐力壁の周辺に倒れ柱を設けると、耐力壁の塑性変形性能が向上する

1. 柱に作用する軸方向圧縮力と塑性変形性能

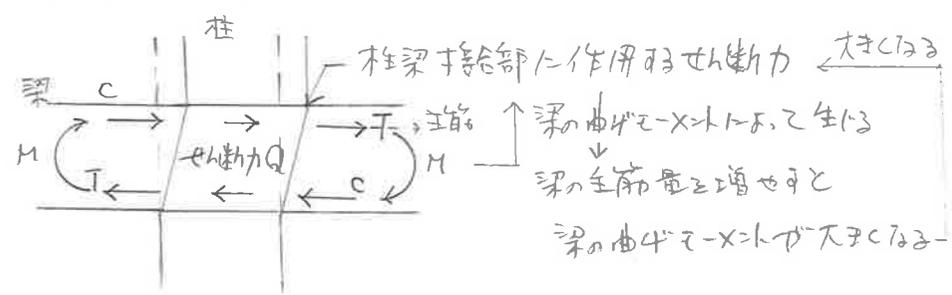


圧縮側のコンクリートが早期に終局時刻に達し、それ以降は最大耐力を保持できなくなる
 → 軸方向圧縮力が大きいと曲げ耐力は増加するが、塑性変形性能は低下する

2. 梁の貫通孔とせん断耐力



3. 柱梁接合部に取付く梁の主筋量とせん断耐力



4. 耐力壁の周辺柱と塑性変形性能

